ディスクの種類とサイズについて

これからディスクドッグを始める方向けに、ディスクの種類・素材・サイズの選び方をまとめました。
各ディスクの詳しい特徴・素材・仕様については、内容が変更される場合もあるため、最終的には各メーカーの公式ホームページでのご確認をおすすめします。ここでは選び方の目安として参考にしてください。

★ 北海道シリウス友の会の推薦ディスク

- **製品名:** HERO（ヒーロー）DX235 スティックグリップ
- **サイズ:** 直径 235mm（リム高：外側 18mm／内側 16mm）
- **重さ:** 105g 前後
- **素材:** PP 製（ポリプロピレン） ※ゴム質でグリップ感のある素材
- **特徴:** 手にフィットして滑りにくく、回転をしっかりかけやすいため直進安定性が高い。犬の歯型もつきにくく、耐久性も比較的良い。
- **推薦理由:** 「まず 1 枚選ぶならこれ」という定番ディスクとして、北海道シリウス友の会で推薦しています。

■ 主なディスクの種類（メーカー・ブランド別）

初めての方が迷いやすい 5 つのブランドを比較します。

メーカー	主な素材	特　徴	主なサイズ
HERO（ヒーロー） ※国内ブランド（Innova Japan）	PP（ポリプロピレン） PE（ポリエチレン）など	モデルが豊富。DX235 は安定飛行、AirDog シリーズはパピー・小型犬向けの柔らかい素材	100〜235mm （多段階）
ファーストバック （Wham-O 社／JFA 公認）	PU（ポリウレタン）	柔らかく犬が咥えやすい形状。少ない力で安定飛行し、落ち際にホバーリングしやすい	223mm （大会標準サイズ）
円盤屋 （ファーストバック取扱店）	ファーストバックと同じ PU 素材	Wham-O 社製ファーストバックに独自ロゴを入れて販売している専門店。基本性能はファーストバックと同様	223mm 前後
ジョーズ（Jawz） （Hyperflite 社／米国）	柔軟性の高い樹脂 （耐久重視）	「破壊王」タイプの犬向け。噛んでも穴が開きにくい高耐久モデル。表面はアンチグレア加工で日光反射を抑える	175〜235mm 前後
NDA 公式 J ディスク （ナショナル・ディスクドッグ）	樹脂製 （硬さ違いバリエーション）	硬さの異なる 1〜5 番（やわらかい〜硬め）があり、どの番手でも競技に使用可能。NDA 主催大会の公式ディスク	約 222mm 重さ約 100g

◆ それぞれの向き・不向き

・練習を始めたばかり、まず安定して投げたい → **HERO DX235 スティックグリップ**
・噛む力が強く、ディスクをすぐ壊してしまう犬 → **ジョーズ（Jawz）**
・パピーや小型犬、まずディスクに慣れさせたい → **HERO AirDog シリーズなど柔らかい小サイズ**
・NDA 主催の大会に出たい／犬の硬さの好みに合わせて選びたい → **NDA 公式 J ディスク**

◆ 補足：北海道地域でのポイント＆冬場・氷点下での耐久性

【ファーストバックについて（北海道での位置づけ）】

・ファーストバックは JFA 公認の大会ディスクですが、北海道では JFA 主催の大会自体がほとんど開催されていません。
・価格は比較的高めです。
・北海道シリウス友の会としては、こうした地域事情も踏まえ、ファーストバックを積極的には推奨していません（大会で使う機会がある場合を除く）。

【氷点下での耐久性について（HERO DX／SDX／HDX）】

・HERO 製品の DX・SDX・HDX シリーズについて、北海道シリウス友の会で確認したところ、気温が氷点下（マイナス）になっても、寒さによる破損（割れ）は基本的に発生しません。
・実際の厳冬期の環境で使用し、割れないことを確認済みです。
・北海道のように冬場のディスクドッグ活動が氷点下の気温で行われる地域でも、DX・SDX・HDX シリーズは安心して使用できます。

■ サイズの選び方（体高との関係）

ディスクの名称についている数字（235・215 など）は、ディスクの直径（mm）を表しています。サイズ選びの基本的な考え方は以下の通りです。

■ 犬の体高（地面から肩までの高さ）を基準に選ぶ
愛犬の成長段階（パピー～成犬）に合わせてサイズアップしていきます。

■ ディスクの咥え方で調整する
・ディスクをしっかり咥え上げて、前方が地面に引っかからない犬 → 体高より長いサイズでも問題なし
・下あごに引っかけるように咥えるクセがある犬 → 体高より短めのサイズを選ぶ

■ 大きいディスクは重量も増える点に注意
しっかり咥えられていても、大きく重いディスクは口の中で振り回しにくく、地面に擦れてしまうこともあるため、様子を見ながら選びましょう。

◆ サイズの目安

サイズ	対象	該当する製品例・特徴
100〜160mm	パピー・超小型犬 （まずは転がして遊ぶ段階にも）	HERO AirDog100 ／ AirDog160
185mm 前後	小型〜中型犬	HERO AirDog185（レギュラー／グミの 2 素材あり、PE 製、重さ 60g±3g） ・160mm よりも飛距離を出しやすく、本格サイズ（235mm）にはまだ早い犬の練習用に最適 ・柔らかめの PE 製のため歯への衝撃が少ない（穴は多少あきやすい）
215〜235mm	中型〜大型犬 競技本格対応サイズ	HERO DX215 ／ DX235 NDA 公式 J ディスク（約 222mm）

■ まとめ

✓ まず 1 枚選ぶなら、北海道シリウス友の会推薦の HERO DX235 スティックグリップが扱いやすくおすすめです。

✓ ファーストバックは JFA 公認ですが、北海道では JFA の大会がほとんどないため、当会としては積極的には推奨していません。

✓ NDA 主催の大会に出る場合は、NDA 公式 J ディスク（硬さ 1〜5 番）をご検討ください。

✓ 噛む力が強い犬にはジョーズ（Jawz）のような高耐久モデルを検討しましょう。

✓ 氷点下の環境で活動する場合も、HERO DX・SDX・HDX シリーズなら寒さによる破損の心配は基本的にありません（北海道シリウス友の会にて確認済み）。

✓ サイズは直径の数字だけでなく、愛犬の体高・咥え方・ディスクの重さを見ながら選ぶことが大切です。

✓ ここに記載の特徴・素材・仕様は目安です。最新の正確な情報は各メーカーの公式ホームページをご確認ください。